

本 会 記 事

第 107 回 日本放射線化学会 理事会議事録

日時 平成 29 年 9 月 27 日 (木) 18:30-
場所 産業技術総合研究所つくば中央第一事業所 共用
講堂 中会議室
出席者 小嶋拓治 (量研), 鷲尾方一 (早大), 吉田陽
一 (阪大), 中川清子 (都産技研), 前川康成 (量
研), 田口光正 (量研), 関修平 (京大), 菊間博
之 (いいえんじ), 伴弘司 (KEK), 伊藤賢志 (産
総研), 真嶋哲朗 (阪大), 青木康 (住重), 田中
真人 (産総研), 越水正典 (東北大), 熊谷純 (名
大), 青木昭二 (イー・シー・イー), 澤井友次
(放振協), 田川精一 (阪大), 勝村庸介 (アイソ
トープ協会), 楊金峰 (阪大), 山下真一 (東大)
(オブザーバー: 近藤, 神戸)

議題

1. 前回 (第 106 回理事会) 議事録 (案) (事務局)

第 106 回理事会の議事録が確認された。

2. 平成 29 年度役員名簿 (事務局)

- 新役員等名簿が提案され, 承認された。吉田氏 (阪大) が会長に就任した。前川氏 (量研高崎), 中川氏 (都立産技研), 高橋氏 (金沢大) が副会長に就任し, 増員された。常任理事に田口氏 (量研高崎), 理事に澤井氏 (放振協), 齊藤氏 (千葉大), 青木氏 (イー・シー・イー), 楊氏 (阪大), 山下氏 (東大) が就任した。
- 事務局が量研高崎研へ移転することが承認された。

3. 会則の変更 (事務局)

- 会則の変更について説明され, 承認された。変更点は, 第 4 条について, 事務局の設置に関して, 住所を削除した。事務局の移転で会則を変更する必要がないようにし, 円滑

な事務局の移転ができるようにした。第 26 条, 第 28 条について, 「てにをは」と, 漢字表記とひらがな表記の混在を修正した。付則について, 改正と施行および移行措置の年月日を追記した。

4. 平成 29 年度賛助会員名簿 (事務局)

- 賛助会員名簿が示され, 確認された。
- 会費未納の賛助会員 2 社が報告され, 対応を検討した。なるべく残留して頂く方向で, 関連する鷲尾氏に調整をお願いした。内 1 社は今回の討論会に広告を出して頂いていると田中氏から情報があつた。

5. 平成 28 年度事業・会計報告 (事務局)

- 事業報告と決算報告がなされ, 承認された。
- 会費未納状況が改善されていないと指摘があつた。赤字続きでもあるので, 討論会補助の減額の検討が提案された。(勝村監事)
- 予稿集等が先払いなので, 現状の討論会補助 20 万円があれば運営上助かるという意見があつた。(田口理事, 田中理事)
- 現在, 討論会補助は, 余剰金が出た場合は学会に戻すことにしている。(事務局)

6. 平成 29 年度事業計画と予算案 (事務局)

- 平成 29 年度事業計画と予算案が報告された。
- 第 61 回放射線化学討論会は, 大阪市立大 (堀邊理事) の予定である。(事務局)
- 第 62 回放射線化学討論会は早稲田大学が受け持つが, 他と共同開催したい。また, 東京の宿泊代が高く, オリンピック前で更に高騰する可能性もあるので, 他の場所での

本 会 記 事

- 開催も考慮している。(鷺尾副会長)
- 高崎研の「成果報告会」は、「QST 高崎サイエンスフェスタ」となる。(前川副会長)
 - 「放射線プロセスシンポジウム」を開催予定である。(鷺尾副会長)
 - 予算は例年通りだか、財政状況は厳しい。会費の増額はやったばかりで、会員の増員を検討すべきである。(吉田会長)
 - 加速器学会の例で、理事会で未納者リストを提示し、関係理事が滞納者に直接声をかけるという方法はかなり有効であると意見があった。(鷺尾副会長)
 - 積立基金について、経緯と使用予定について質問がなされた。(関理事、田川顧問)
 - 法人化のために貯めた資金であることが説明された。(吉田会長)
 - 歴史的資金は返そうと思っても返せないので、積極的な使用が提案された。(関理事)
 - 基金は残すべきであり、運営資金を増やすことを努力すべきという意見があった。(鷺尾副会長)
7. 入退会者一覧 (事務局)
- 入退会者が紹介され、承認された。新規の終身正会員 1 名、新規の正会員 2 名、新規学生会員 5 名が承認された。また、退会は逝去 1 名であった。討論会のその場入会希望者、学生会員 1 名が追加承認された。
8. 放射線サイエンス連合について (小嶋顧問、吉田会長)
- 放射線サイエンス連合について状況が説明された。放射線サイエンス連合は、日本アイソトープ (RI) 協会、日本放射線化学会、日本放射化学会、日本中性子科学会、環境放射能除染学会、日本保健物理学会、同位体学会の現状 7 団体の連合の現状について説明がなされた。
 - 放射線化学がマスコミ等への曝露・アピールできるものを作りたいという当初の意図が説明された。(勝村監事)
 - 費用が発生するなら学会へのメリットを担
- 保すべきという意見があった。(伊藤理事)
9. 会員ページの導入 (事務局)
- 会員ページの導入について説明があり、承認された。
10. 会誌のバックナンバーと討論会要旨集の公開について (事務局)
- 会誌は web に公開、要旨集は会員限定公開という小嶋氏の案が示され、承認された。
 - Web ページは少なくとも SSL を使い、セキュリティ面には十分な注意を払う必要がある。(伴理事)
11. 企画委員会報告 (越水理事)
- 企画委員会は、先端放射線化学シンポジウムを仮題「材料と医療のかけはし」として、7 月ぐらいに計画している。
12. 国際交流委員会報告 (鷺尾副会長)
- 国際交流委員会は、ACRR2017 での学生支援を行った。
 - 来年は APSRC での学生支援を検討している。
13. 編集委員会報告 (山下理事)
- 編集委員会は、104 号を編集中である。
 - 会誌の J-Stage への登録が提案された。承認を受けたので、掲載準備を進める。(順番待ちなので、来年か再来年になる見込み)
14. 若手の会 (鷺尾副会長)
- 若手の会の来年の幹事校は、これから行われる若手の会で決まる。
15. Pacifichem での放射線化学のセッション立ち上げに関して (関理事、鷺尾副会長)

本 会 記 事

- Pacificchem(2020/12/15-25)で放射線化学のセッションを立ち上げるならば、準備が必要である。何スロット必要か、シンポの内容、morning session, afternoon session, evening session の各セッションについて、セッションリーダーが2名までinviteできる。セッションの提案は1-3月、6月に組織委員会がある。セッションをつくるには別の国と組む必要があると関氏より説明がなされた。立ち上げるかどうかは次期会長に委ねると鷺尾氏より意見があった。

16. 学会 Web ページの刷新について (関理事, 伴理事)

- 事務局より現担当者には難しい事が説明され、関氏より外注の提案があった。
- 伴氏より、自作の方が更新等で都合がよく、また助力すると申し出があった。

17. 放射線化学賞について (事務局)

- H29 年度の放射線化学賞の候補者の推薦について各理事への依頼と、賞の告知をメール、web ページを通じて行う旨説明があった。

以上

本 会 記 事

平成 29 年度役員等名簿（平成 29 年 12 月 1 日現在）

会長	吉田 陽一（阪大産研）	
副会長	鷺尾 方一（早大理工研） 平出 哲也（原子力機構・東海） 前川 康成（量研・高崎） 中川 清子（都立産技研） 高橋 憲司（金沢大工）	国際交流委員会担当 編集委員会担当 事務局担当 放射線サイエンス連合担当 研究推進担当
常任理事	錦見 敏朗（NHV コーポレーション） 河内 宣之（東工大院理工） 丑田 公規（北里大理） 伊藤 賢志（産総研） 浅井 圭介（東北大院工） 青木 康（住友重機械）	辻 正治（九大炭素資源センター） 永石 隆二（原子力機構・東海） 真嶋 哲朗（阪大産研） 堀邊 英夫（大阪市大院工） 田口 光正（量研・高崎）
理事	澤井 友次（放振協） 小泉 均（北大院工） 小嶋 崇夫（大阪府大） 工藤 久明（東大院工） 熊谷 純（名大） 鈴木 信三（京産大理） 関 修平（京大院工） 林 慎一郎（広島国際大） 田中 真人（産総研） 岡 壽崇（東北大高教機構） 古澤 孝弘（阪大産研） 越水 正典（東北大院工） 楊 金峰（阪大産研）	砂川 武義（福井工大） 竹中 康之（北教大） 中村 一隆（東工大セラミック研） 駒口 健治（広大院工） 斎藤 恭一（千葉大工） 青木 昭二（イー・シー・イー） 泉 佳伸（福井大） 山路 稔（群馬大院工） 加藤 隆二（日本大） 菊間 博之（いいえんじ） 廣木 章博（量研・高崎） 伴 弘司（高エネルギー加速器研） 山下 真一（東大院工）
監事	勝村 庸介（日本アイソト - プ協会）	平岡 賢三（山梨大工）
顧問	佐藤 伸 田川 精一（阪大産研） 田畑 米穂（原子力システム研究懇話会） 市川 恒樹（北大院工） 小嶋 拓治（量研・高崎）	籾野 嘉彦 濱 義昌（早大理工研） 南波 秀樹（放振協） 中川 和道（阪大産研）
名誉会員	近藤 正春	
編集委員会	委員長：平出 哲也（原子力機構・東海） 主任：山下 真一（東大院工） 岡本 一将（北大院工） 甲斐 健師（原子力機構・東海） 加藤 昌弘（産総研） 菅 晃一（阪大産研） 佐伯 誠一（量研・高崎） 端 邦樹（原子力機構・東海）	林 慎一郎（広島国際大） 伊藤 賢志（産総研） 岡 壽崇（東北大高教機構） 田中 真人（産総研） 藤井 健太郎（量研・東海） 椎名 孝行（千代田テクノル） 竹内 夕桐子（極東産業）
企画委員会	委員長：越水 正典（東北大院工） 青木 康（住友重機械） 駒口 健治（広大院工）	須郷 由実（量研・高崎） 藤井 健太郎（量研・東海） 室屋 裕佐（阪大産研）
国際交流委員会	委員長：鷺尾 方一（早大理工研） 室屋 裕佐（阪大産研） 田口 光正（量研・高崎）	泉 佳伸（福井大） 林 銘章（中国科技大） 楊 金峰（阪大産研）
事務局	前川 康成（量研・高崎） 田口 光正（量研・高崎）	廣木 章博（量研・高崎）

本 会 記 事

平成 29 年度会計中間報告（平成 30 年 3 月 20 日現在）

収入の部

（単位：円）

項目	29 年度予算案	29 年度中間	内容等
賛助会員 (14 社 28 口)	320,000	280,000	2017 年度契約数 30 口 (17 社), ※未納：1 口×3 年 + 1 口×1 年 (40,000 円)
個人正会員 (197 名)	950,000	629,500	正会員 入金金額 629,500 円 [未納 1,010,000 円]
学生会員 (12 名)	19,500	4,500	学生会員 入金金額 4,500 円 [未納 18,000 円]
終身正会員寄付金	-	50,000	
雑収入 (利息等)	5,000	23,923	著作権料 受取利息 (国際文献分 6 円, 事務局分 6 円)
第 60 回 放射線化学討論会 補助金 剰余金返金	-	249,000	余剰金 200,000 円 要旨集広告費 49,000 円
補助金	-	-	
積立基金からの繰り込み	-	-	
前年度繰越金	811,380	811,380	
合計	2,105,880	2,048,315	

支出の部

項目	29 年度予算案	29 年度中間	内容等
通信連絡費	20,000	1,065	切手代・レターパック代
振込手数料	-	1,836	国際文献社分 0 円, 事務局分 1,836 円
事務委託費 年間業務費	700,000	121,176 440,808 75,654	国際文献社 (H29.6-H29.9) 国際文献社 (H29.10-H29.11) 国際文献社 (H29.12-H30.2)
会議費	15,000	5,627	H29.9 理事会 5,627 円
放射線化学討論会援助	200,000	-	第 61 回 放射線化学討論会@大阪市立大 未執行
先端放射線化学 シンポジウム補助	100,000	-	
若手の会 夏の学校補助	150,000	-	H29 年度分 未執行
学会賞	127,000	38,320	H28 年度分 メダル付き表彰盾代 29,160 円 H29 年度分 審査員旅費 9,160 円
企画委員会経費	75,000	-	
国際交流委員会経費	75,000	-	未執行 (ICIP 等 学生への補助を予定)
編集委員会経費	200,000	-	執行予定
日本放射線研究連合負担金	50,000	50,000	執行済
ホームページ運営費	55,000	4,838	レンタルサーバー代 3,240 円 HP ドメイン更新料 1,598 円 Web 管理者謝金 50,000 円 未執行
予備費	200,000	-	
小計	2,600,000	739,324	
次年度繰越金	138,880	1,308,991	
合計	2,105,880	2,048,315	

本 会 記 事

平成 29 年度 入退会希望者一覧

入会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	紹介者
正会員	729	山沖 瑠実	大阪薬科大学	小嶋 拓治, 吉田 陽一
正会員	731	澤井 友次	一般社団法人放射線利用振興協会 東海事業所	
正会員	734	間嶋 拓也	京都大学工学研究科附属量子理工学教育センター	柴田 裕美
学生会員	727	佐藤 謙太	東邦大学 理学部物理学科量子エレクトロニクス教室	池田 時浩
学生会員	728	廣瀬 寛士	東邦大学 理学部物理学科量子エレクトロニクス教室	池田 時浩
学生会員	730	葛谷 佳広	京都大学原子炉研究所	
学生会員	732	仮屋 深央	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	室屋 裕佐
学生会員	733	山田 徹平	大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻	室屋 裕佐
学生会員	735	楠本 多聞	神戸大学大学院海事科学研究科海事科学専攻	山内 知也

退会

会員種別	会員番号	会員名	所属機関名	退会日
正会員	178	宿島 悟志	住友電工電子ワイヤー (株)	2018/1/7

平成 29 年度 日本放射線化学会賛助会員

住友電気工業 (株)
<http://www.sei.co.jp>

(株) NHV コーポレーション
<http://www.nhv.jp>

ビームオペレーション (株)
<http://www.beamope.co.jp>

(一財) 放射線利用振興協会
<http://www.rada.or.jp>

レーベン館 (株)
<http://www.leben.jp>

(株) 環境浄化研究所
<http://www.kjk-jp.com>

(株) イー・シー・イー
<http://www.ece-ebara.com>

(有) イーオーアール
<http://www.eor.jp>

極東産業 (株)
<http://www.kyokuto-sangyo.co.jp>

ヨシザワ LA (株)
<http://www.yoshizawa-la.co.jp>

岩崎電気 (株)
<http://www.iwasaki.co.jp>

量子科学技術研究開発機構
<http://www.qst.go.jp>

東邦金属 (株)
<http://www.tohokinzoku.co.jp>

(株) イング
<http://www.ing-co.jp>

(公財) 日本アイソトープ協会
<http://www.jrias.or.jp>

(株) 千代田テクノル
<http://www.c-technol.co.jp>

いいえんじ合同会社
<http://iieng.jp>

放射線化学 第105号〈WEB版〉

平成30年4月30日 発行

発行所 日本放射線化学会

〒370-1292 群馬県高崎市綿貫町 1233

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

高崎量子応用研究所 先端機能材料研究部

e-mail: jsrc@qst.go.jp

TEL: 027-346-9410, FAX: 027-346-9443

編集委員長 平出 哲也

編集委員 山下 真一

岡本 一将 甲斐 健師

加藤 昌弘 菅 晃一

佐伯 誠一 端 邦樹

林 慎一郎 椎名 孝行

竹内 夕桐子 伊藤 賢志

田中 真人 藤井 健太郎

岡 壽 崇

郵便振替口座

長野 00540-9-34599

日本放射線化学会

発行人 吉田 陽一